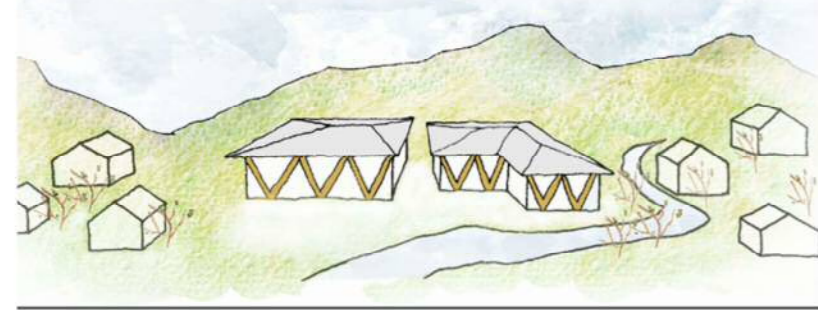


10の全体構想

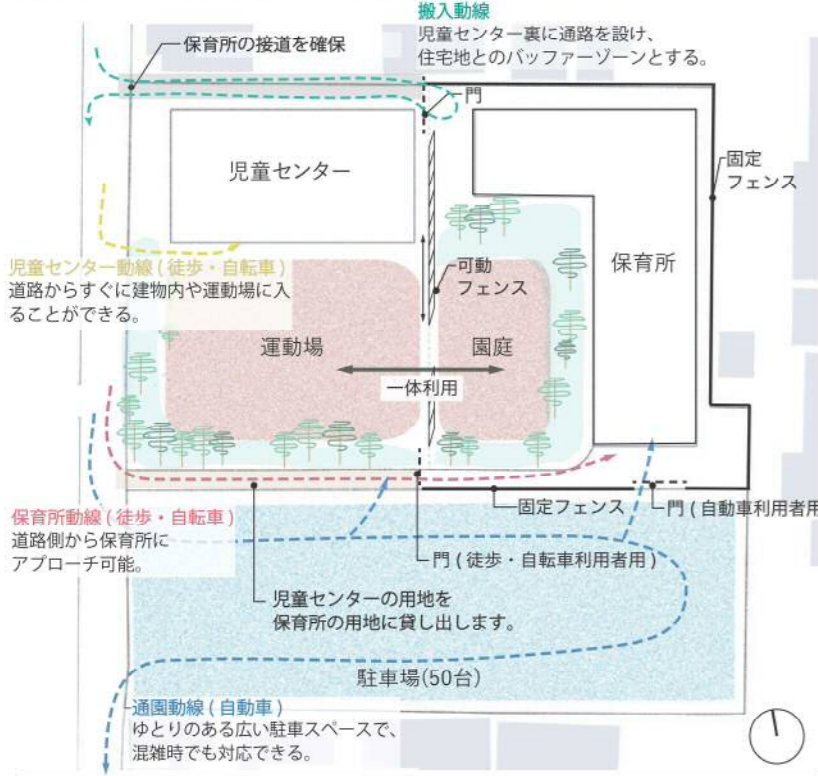
01 八幡浜の元気の源となる施設「ひだまり総合児童センター」

2つの大きな屋根が連なる2階建ての建物は、周囲の環境や山並みと調和し、親しみの持てる新しい風景をつくります。子どもたちが**エネルギーの源**となり、**八幡浜がより元気になる施設**を提案します。



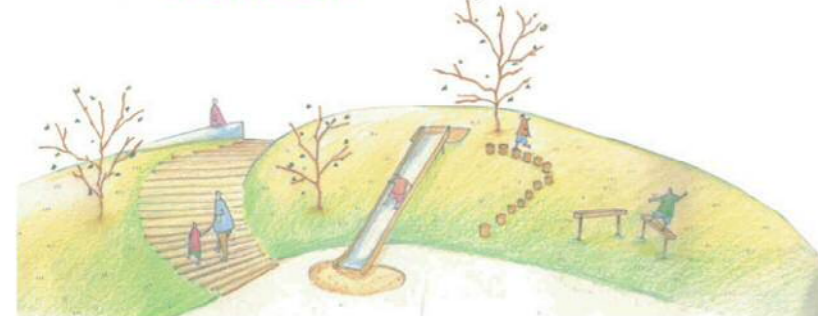
02 周辺環境と子どもの安全性に配慮した配置計画

■**機能的な建物配置**
周辺の住宅地に音や砂埃がいかないように、**建物を北側と東側に寄せて配置**します。また、建物をL字型に配置することで、イベント時に児童センターの運動場と保育園の園庭を**一体的に利用**することができます。
■**明確な建物アプローチ**
・保育所：敷地西側の道路に面して玄関を設け、**わかりやすいアプローチ**とします。
・児童センター：駐車場北東部に自動車利用者用の門を、駐車場北側に道路から続く通路と徒歩・自転車利用者用の門を設けます。**利用者の違いに応じた便利なアプローチ**とします。
■**「安心安全」を目指したセキュリティ計画**
保育所の周りには、子どもたちが**安全に過ごせる**ように固定式・可動式のフェンスを設置します。門には電気錠・インターホンを設置し、万全のセキュリティ対策を目指します。



03 楽しく遊べる外構

■**歩いて楽しい屋外環境**
敷地内に引き込んだ道沿いに、**緑豊かな屋外環境**を作ります。歩いて楽しくなる工夫を運動場や園庭の周りに施し、街に馴染む風合いを作り出します。
■**地形に遊具を合わせた「あそびの丘」**
児童センター運動場の周りに、基礎工事の際に生じる残土を利用した小さな丘を作ります。丘には植栽を施し、遊具を添わせることで、街並みとの間に**ゆるやかな境界**を作ります。



04 県産材をふんだんに利用する

■**地場産の木材は、伐採され柱などになっても、生まれ育った気候風土によく適応し、長持ちする**と言われます。県産材を多用することで、八幡浜の気候に適した建物にすることができます。
■**木材は、コンクリートや鉄と比べるとやわらかい材料**です。子どもたちがぶつかったときの**衝撃を優しく受け止め、ケガをやわらげる**ことが出来ます。
■**木材は、室内の湿度を調整し、常に快適な空間を提供してくれる材料**です。湿度を一定に保ち、機械換気に頼らない省エネな環境を作り出します。
■**県内にある製材メーカーとの協力をはかり、身近な材料を有効利用**することで**メンテナンスも容易**に行うことができます。
■**地元で生産されたものを地元で消費する、「地産地消」**を行うことで、地域の活性化に貢献できます。

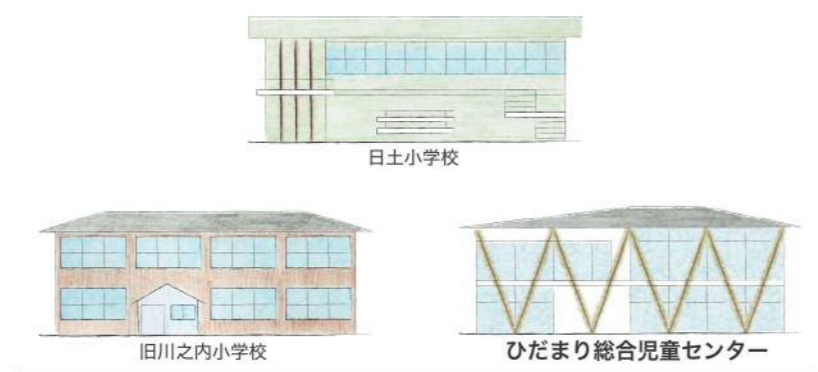
05 温もりのあるシンプルで大きな木架構

2つの建物を取り囲むように、斜めの柱が建物全体を覆います。大きな木架構によって、子どもたちの毎日を楽しむ空間体験を届けます。内装にも県産材を多用し、長時間滞留する部屋を中心に木質化することで、**子供たちに優しいスケールの居心地良い場所**を作ります。



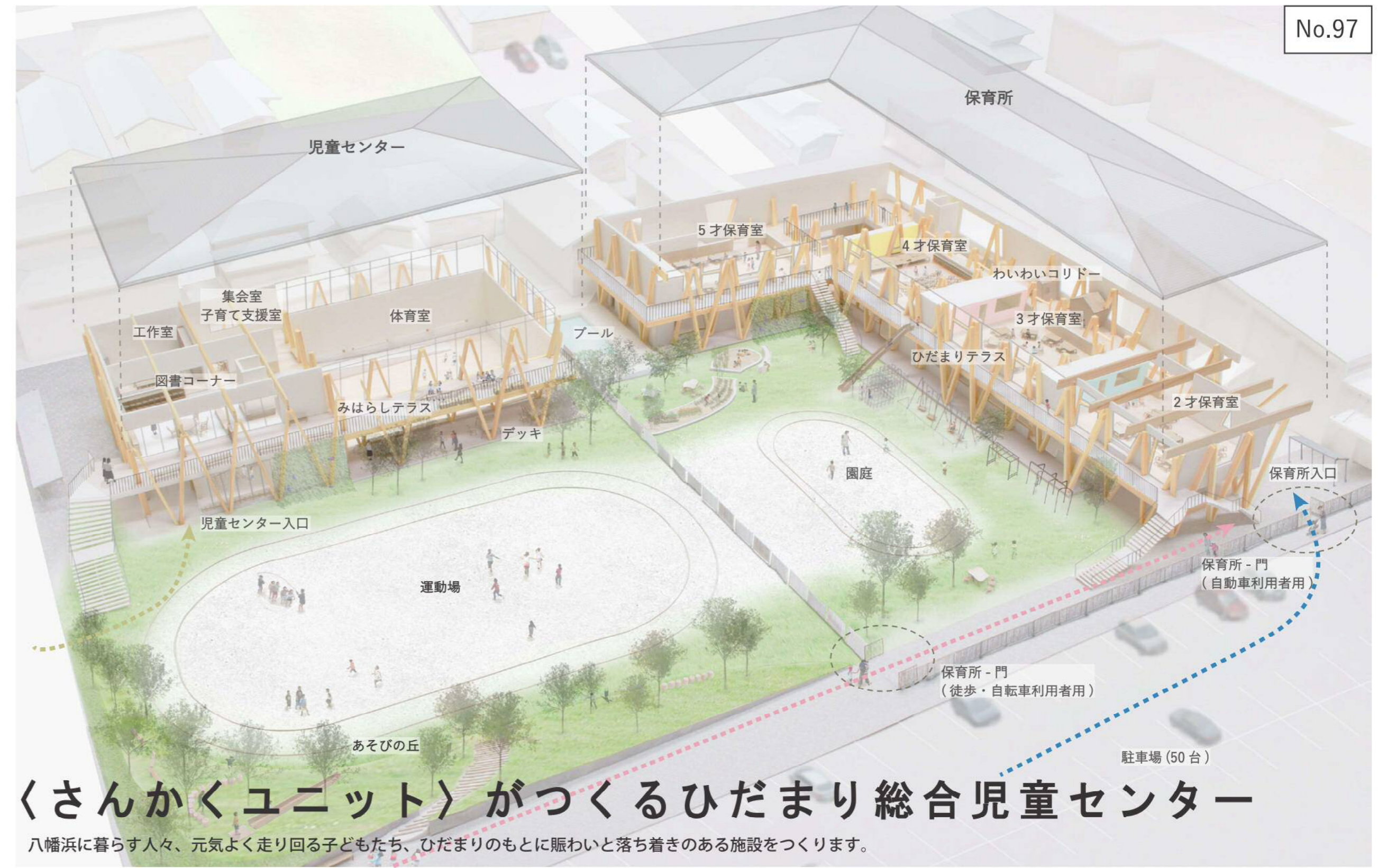
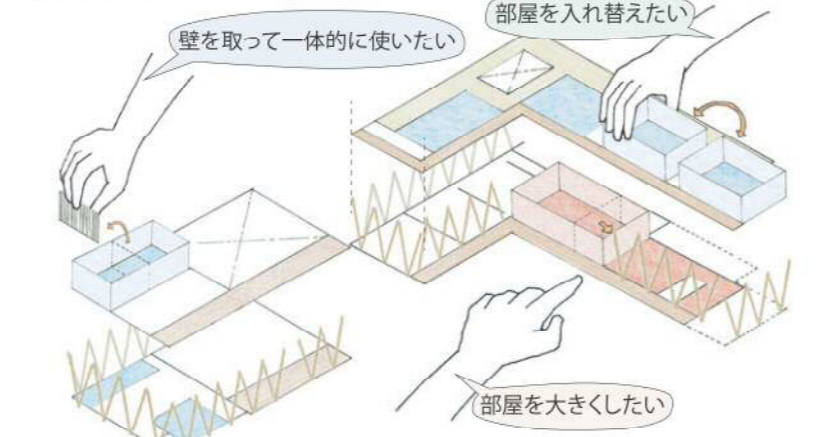
06 地域に根付く木造建築を目指す

八幡浜には、松村正恒氏の設計による重要文化財『日土小学校』をはじめとして、数々の優れた木造建築が存在します。街のシンボルとしての佇まいをもつこれらに倣い、**八幡浜の地に根付き、誇りや愛着の持てる木造建築**を目指します。



07 場所の使い方をみんなで考える

2階分の高さをもつ大きな木架構とすることで、構造にとらわれない自由な部屋の配置が可能になります。楽しく使いやすい空間を実現するために、現地の方々とワークショップを行います。**地域住民、職員と設計者で場所の使い方をいっしょに考え、愛着のある施設づくり**を目指します。

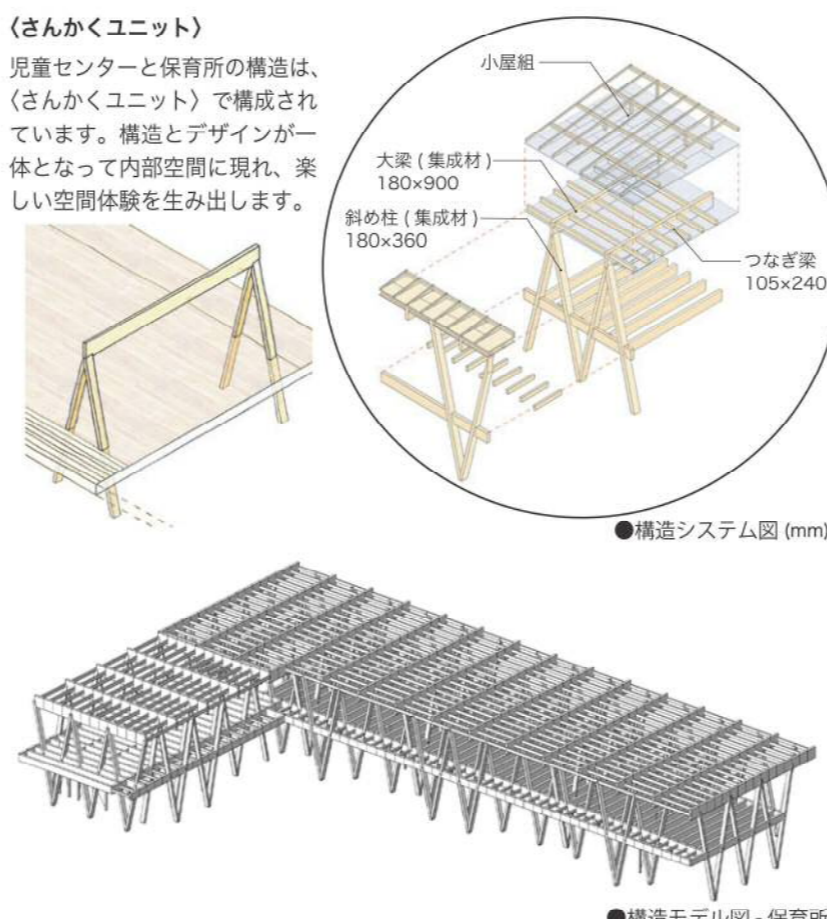


〈さんかくユニット〉がつくるひだまり総合児童センター

八幡浜に暮らす人々、元気で走り回る子どもたち、ひだまりのもとに賑わいと落ち着きのある施設をつくります。

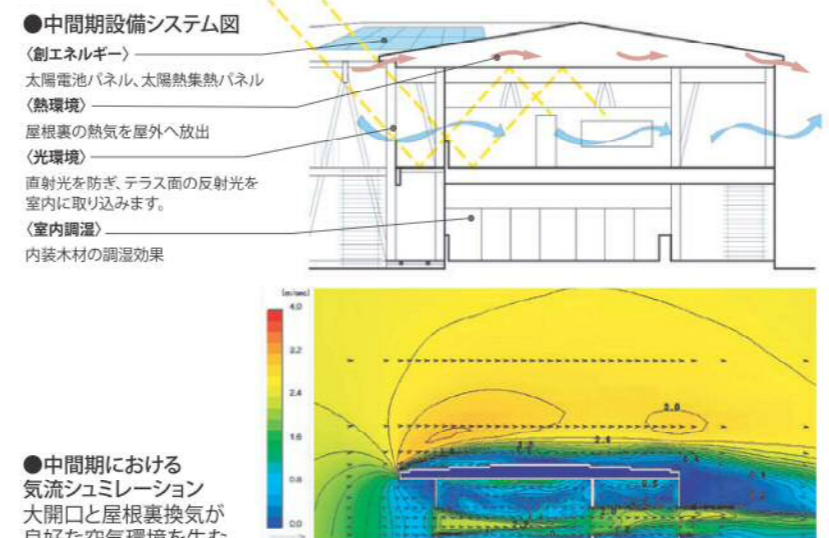
08 プランニングに柔軟に対応できる構造計画

大きな木架構は、どんな平面計画に対しても柔軟に対応することができる構造です。集成材からなる**〈さんかくユニット〉**の木架構を連続させることで、**建設コスト削減や工期短縮**が期待できます。2階では、斜め柱が主要な耐震要素となるため、**広々とした部屋**を設けることが可能です。



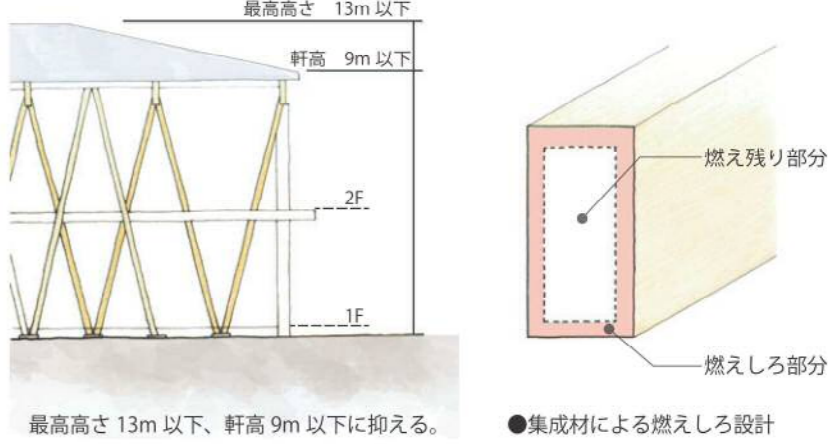
09 自然エネルギーを活かした環境計画

■**呼吸する建築**
・大開口のサッシを採用することで、春・秋の中間期は卓越風を積極的に室内に取り込み、自然換気によって**心地良い室内空間**を作ります。
・夏季は、テラスの庇で直射光を防ぎ、屋根裏空間の自然換気を積極的に行うことで、**少ないエネルギーで最大限の冷房効果**を得られる計画とします。
・冬季は、窓面からの日射に加え、直射日光により暖められた屋根裏空間の暖気を室内に取り込み、室内暖房に寄与する計画とします。
■**コスト削減と災害に対する備え**
・設備機器は、汎用品を採用することで、機器費の削減を図ると共に機器故障時に更新を容易にします。高効率型機器とすることで、**ランニングコストの削減**を図ります。
・本施設は、災害時に避難施設に指定はされていないため、特化する必要はありませんが、太陽光発電による最低限の電気の確保、太陽熱利用によるお湯の確保を図ります。



10 関連法規への対応

■**耐火建築物としない構造**
建物の高さを13m以下、軒の高さを9m以下とすることで、建築基準法上、木造の準耐火建築物として計画することができます。集成材による準耐火建築物とすることで、**木材をあらわし（露出）**で使うことが可能となり、コスト削減や設計期間の縮減につながります。

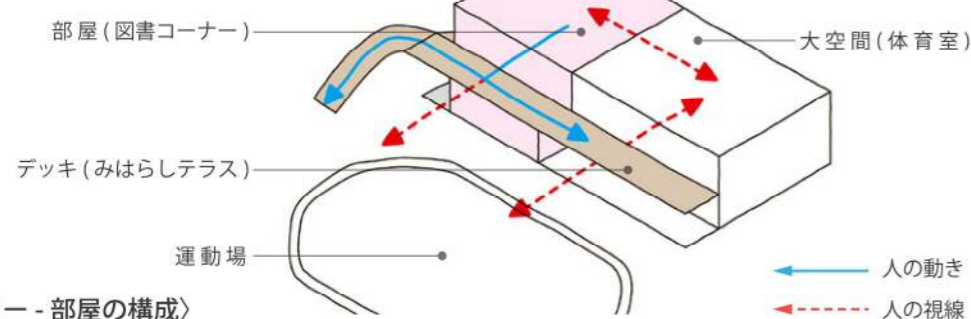


■**「燃えしろ設計」による準耐火建築物**
「燃えしろ設計」とは、柱を太くして燃えしろを作ることで、柱の表面が燃えても芯が残るように設計する方法です。柱や梁全体を「燃えしろ設計」とすることで、万が一火災が生じた際にも十分な消火時間を稼ぐことができ、**建物の倒壊を防ぐことが可能**になります。

■**子どもたちの安全を守る防火区画**
防火区画とは、建物内部での火災などによる被害の拡大を防ぐために、建築物内部を火炎や煙を防ぐ仕切りで区画する方法です。45分間準耐火構造とし、床面積500㎡以内に防火区画を行います。建物の倒壊を防ぐと同時に、**子どもたちの生命を安全**に守ります。

木に囲まれたような大空間をもつ 〈児童センター〉

多世代をつなぐ様々な居場所と、木に囲まれたような大空間の体育室をもつ、遊びの幅が外に広がっていく児童センターの提案です。



〈児童センター-部屋の構成〉

■イベント開催!! 元気のある街へ

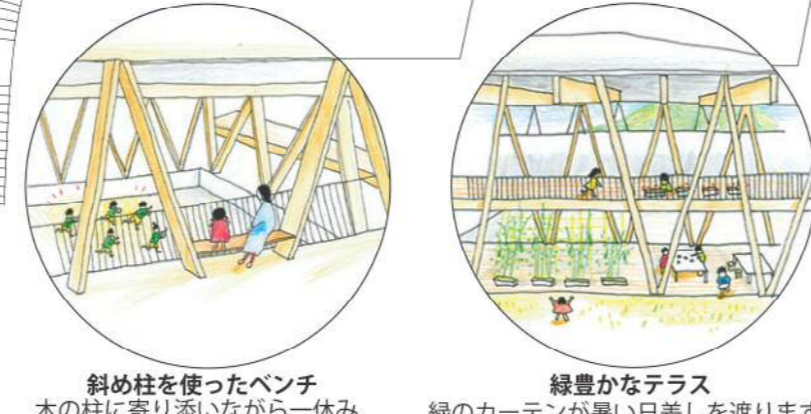
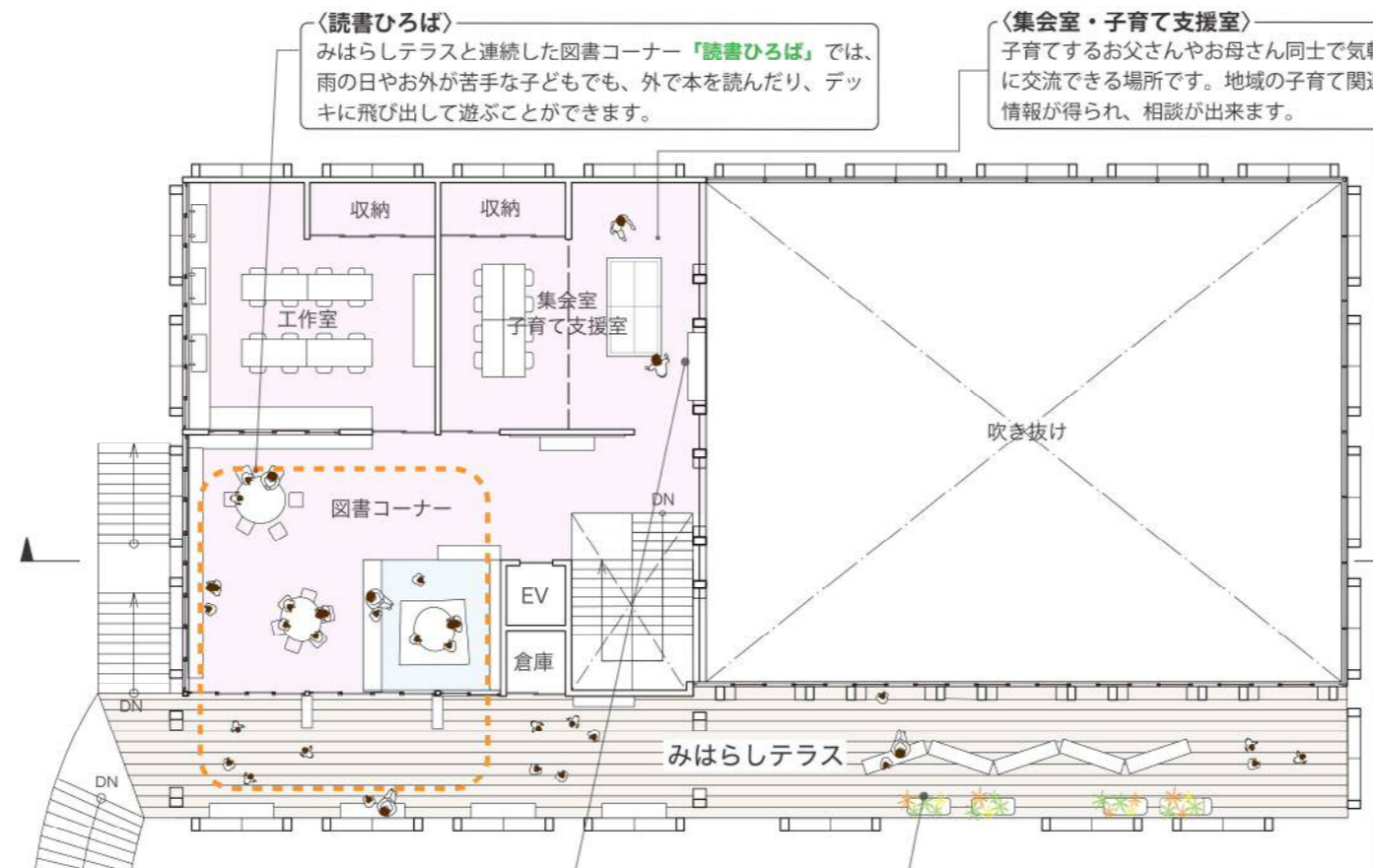
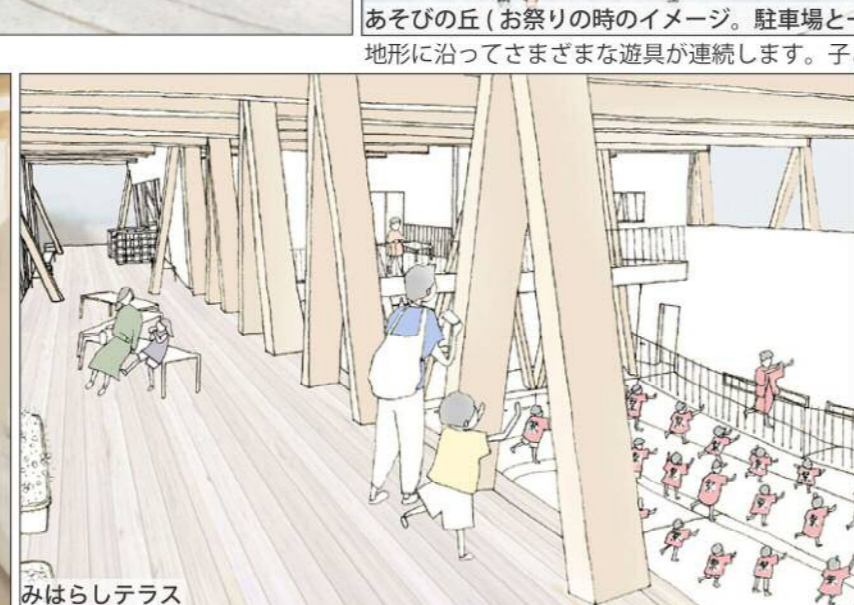
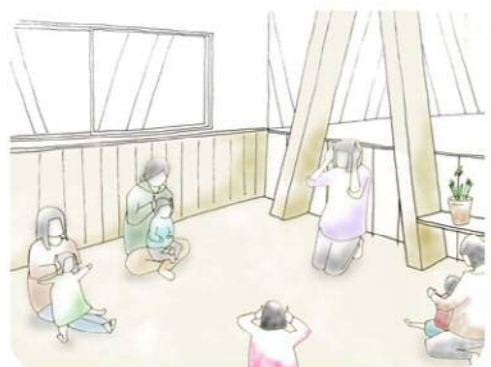
児童センターでは、地域の自治会等と連携してさまざまな行事やイベントを企画します。年間を通して定期的に企画を起し、八幡浜の子どもたちや保護者・地域住民を巻き込み、元気ある街にします。遊びや活動を通して、子どもの**創造性**や**社会性**を育みます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	常時開催
かるた大会	ひな祭り	センター祭	七夕祭り	夏祭り	運動会	クリスマス会	クラブ	お祭り村	親子交流会	クッキング講座	なつかしランド	
	育児講座	子ども歓迎会	てやてや踊り練習会	地域交流会	子どもお掃除隊							
地域交流会	子ども歌う会		子ども映画会	てやてや踊り練習会	地域交流会							



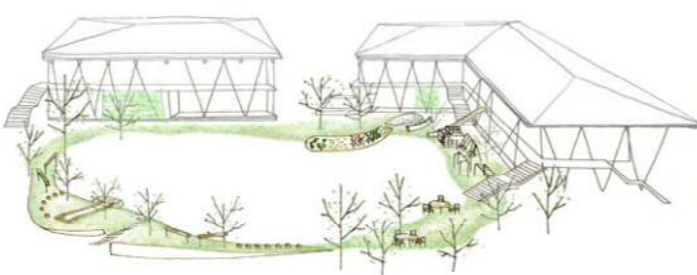
■子育て支援事業の取組み

この建物を**子育て支援ネットワークづくりの拠点**として位置づけます。施設2階に子育て相談や子育てサークルの活動の場を設け、母親の負担を軽減し、親同士の交流を図ります。妊娠体操などを体育室で定期的に行い、妊婦を対象とした育児支援を行うなど、**地域全体で子育てを支える**取り組みを積極的に行います。



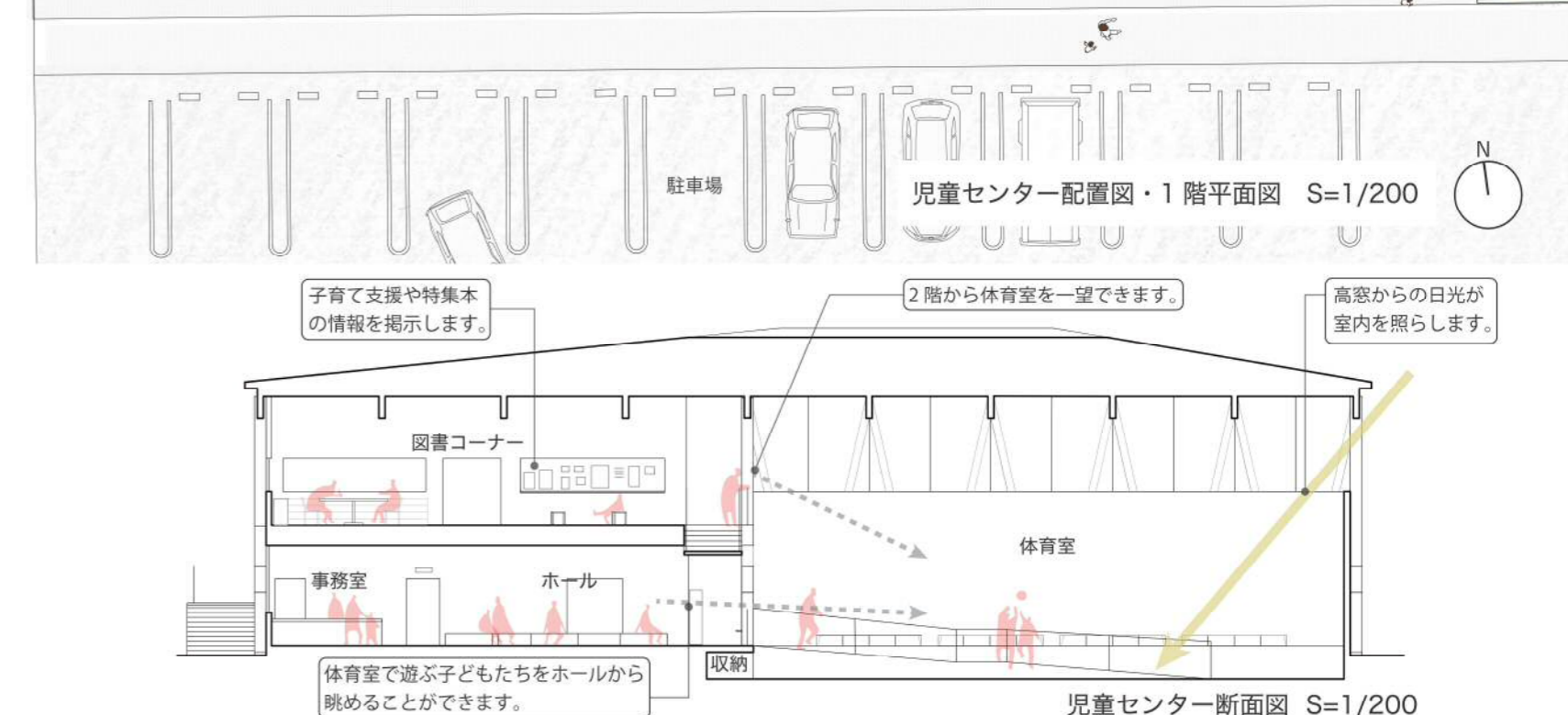
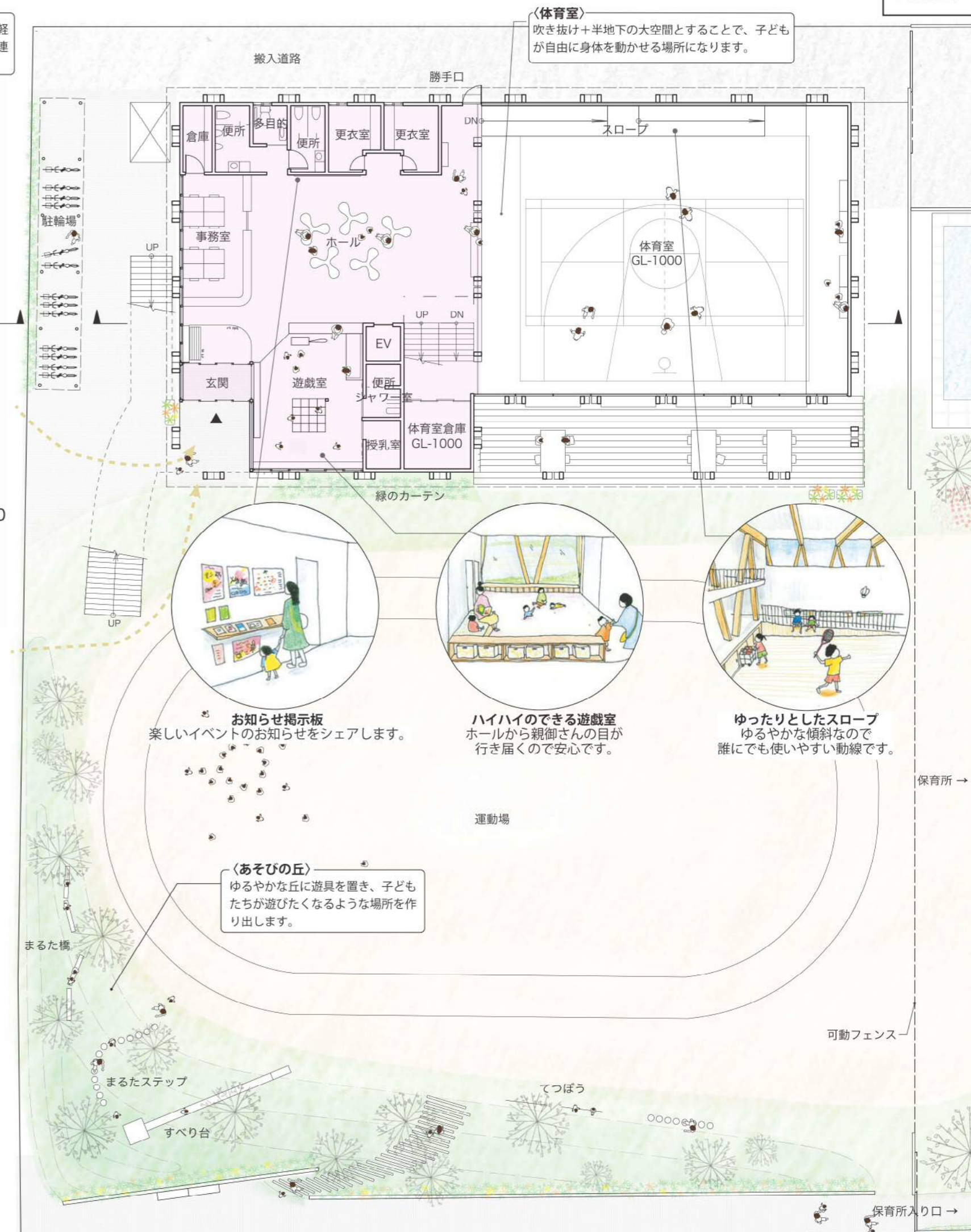
■児童センターと保育所を緑地でむすぶ

ランドスケープの一角をなす植栽は、**施設相互の魅力**を高める重要な要素です。お互いの敷地をまたぐように緑地を連続させ、**緑と親しむことのできる場所**をつくります。



●面積表 - 児童センター

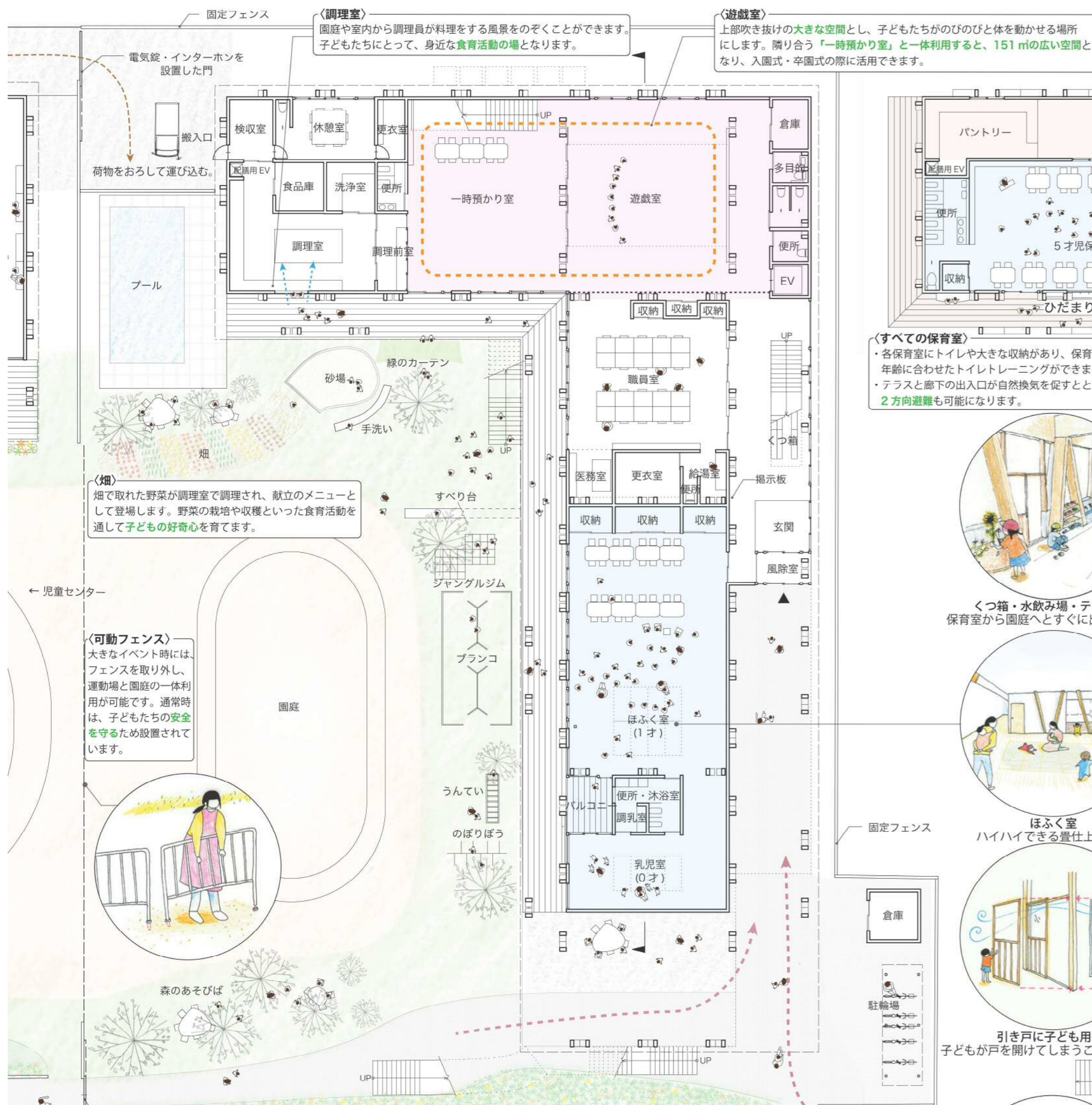
室名	m ²
遊戯室	36.24
体育室	251.69
事務室	19.66
図書室	70.51
授乳室	4.52
シャワー室	2.15
トイレ	21.25
工作室	43.72
集会室	45.59
ホール	86.42
みはらしデッキ	72.29
デッキ	41.62
更衣室	16.42
風除室	6.10
玄関	6.05
通路	16.17
階段室	20.35
倉庫	5.27
体育室倉庫	8.23
みはらしデッキ倉庫	3.58
延床面積	760.75 m ²



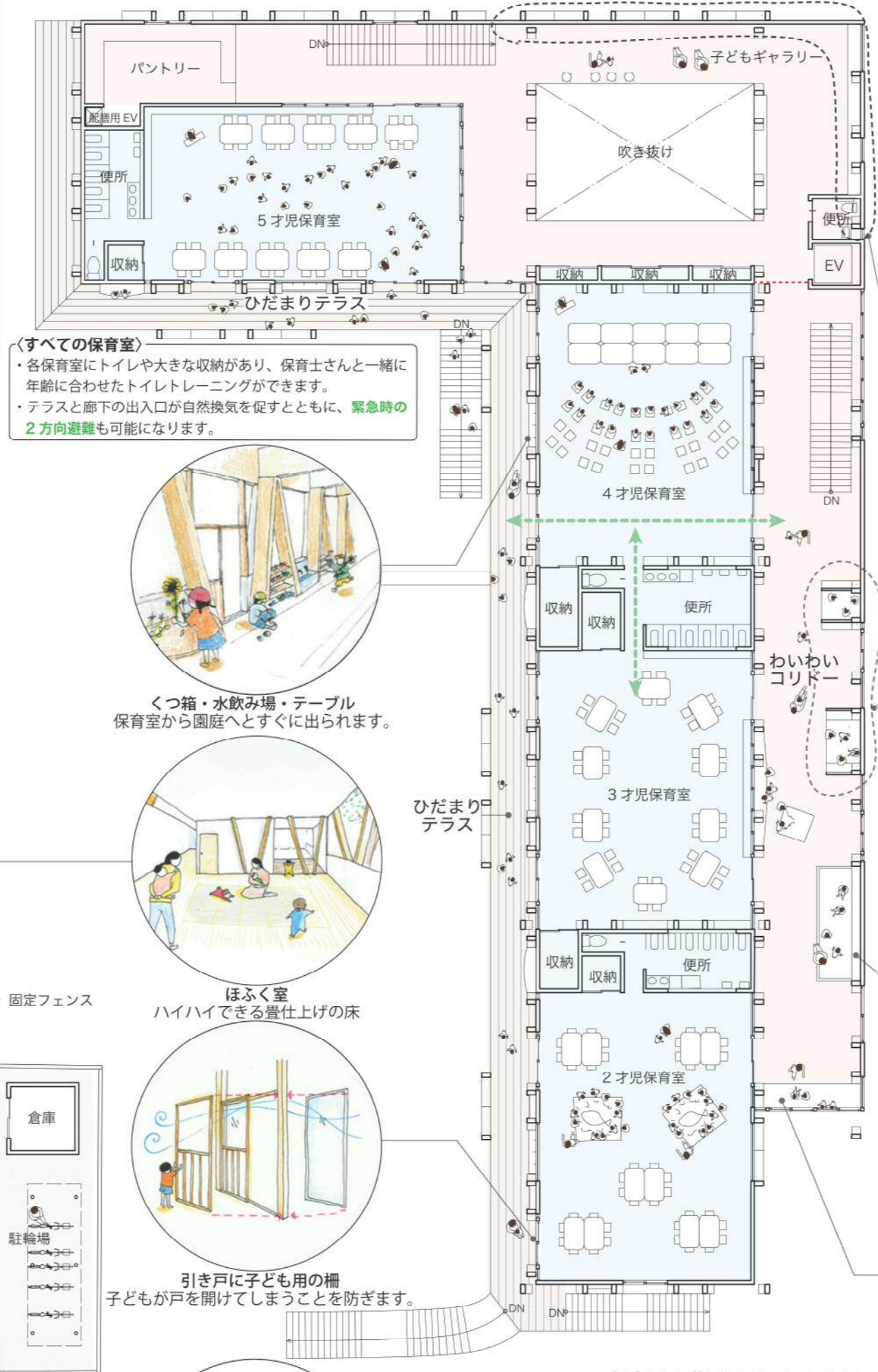
平面計画 - 保育所

楽しい空間を生み出す森のような〈保育所〉

子どもたちが1日のほとんどを過ごす保育室を中心に、遊びの場に飛び出せる保育所を提案します。



保育所配置図・1階平面図 S=1/200

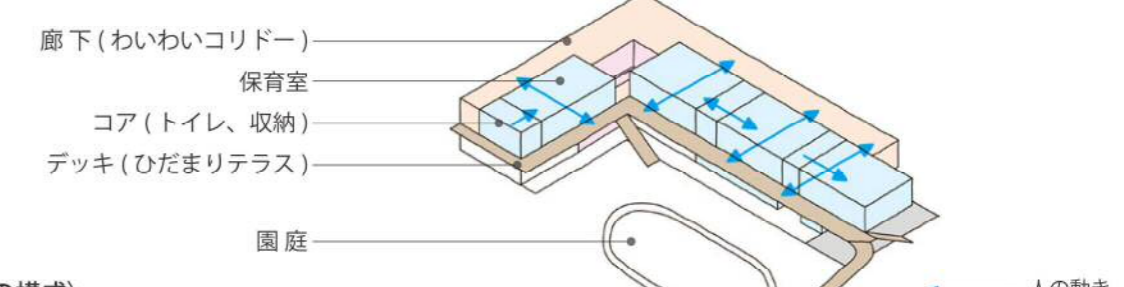


保育所2階平面図 S=1/200

●面積表 - 保育所

室名	㎡
乳児室	33.62
ほふく室	106.40
保育室 2・3・4才児	90.21
5才児	87.46
一時預かり室	70.39
遊戯室	81.44
(一時預かり室の一体利用)	(151.83)
職員室	62.55
医務室	6.76
調理室	38.61
便所	75.81
〈調理ゾーン〉	
検収室	7.52
食品庫	6.65
洗浄室	6.65
前室	6.71
更衣室	4.73
休憩室	15.79
〈職員室ゾーン〉	
給湯室	7.19
更衣室	10.31
延べ床面積	1474.06㎡

保育所断面図 S=1/200



〈保育所-部屋の構成〉

わいわいコリドー

